

2022年3月23日

文京区長  
成澤廣修 様

日本共産党文京区議会議員団  
東京都議会議員 福手ゆう子

### 区立目白台運動公園に関する質問と要望

区立目白台運動公園は、国家公務員共済組合連合会(KKR)が旧運動場の売却を表明後、樹林地と広場を区民のために活用して欲しいとの区民の熱い願いと住民運動を受け、2007年度に「樹林地等みどりの保全を図るとともに、運動機能と防災機能を備えた都市計画公園として整備する」(「平成19年度主要事業等資料」P25より)と方針を掲げ整備を開始し、2009年(平成21年)4月に開設されました。

公園の取得・開設にあたっては、小竹ひろ子都議(当時)と日本共産党文京区議団も住民と共に要求し、開園に至った経過があります。公園の管理運営については、わが党区議団の反対にも関わらず、指定管理委託方式が採用され、2009～2018年度は西武パークナース(構成員 西武造園(株)・西武緑化(株))が、2019年度から現在までは目白台パークアップ共同体(構成員 一般財団法人公園財団・日本体育施設(株))が受託し管理・運営されてきました。

区民の願いに応えた同公園は、防災広場や芝生広場を備え、30,381 m<sup>2</sup>を有し区内外の住民にとってかけがえのない憩いの施設として喜ばれ、利用されてきました。

ところが近年、桜や椎の木にキノコ等が繁殖する等で多くの樹木が伐採され、貴重な緑地も失われる事態が引き起こされています。また、指定管理者が側溝に堆積したテニスコートの目砂を開園当初から公園西側テニスコート脇と公園南側樹林帯の急傾斜の崖地最上部に積み上げていたことが明らかになりました。

東京都環境局は指定管理者が積み上げた目砂等からなる堆積物は、廃棄物清掃法上の汚泥であり産業廃棄物として処理するよう指導すると共に、2021年12月10日には現地で立入調査を実施しました。産業廃棄物である汚泥の撤去作業は、2022年3月22～23日に至り漸く指定管理者が実施することになりましたが、汚泥は18 m<sup>3</sup>(比重が1.5程度とすると少なくとも27 t程度になります)にのぼると言われています。

一方、テレビ朝日が2022年3月16日、目白台運動公園での違法投棄を報道すると、目白台パークアップ共同体は3月18日付で、「お詫びとお知らせ」を公表し「側溝土砂は再利用目的で樹林地内の補修等」に利用していたとの新たな説明を行いました。側溝土砂については2022年2月15日の本会議で区長が「再利用することを目的として積み上げた」と答弁(日本共産党文京区議団 金子区議の一般質問に対し)していましたが、排水溝に溜まった目砂にはテニスコートの整備用ブラシの毛(ナイロン製・緑色)も混入しており再利用することなどありえません。それに加え、仮に樹林地の「補修等」に利用したとの説明が事実とするならば、3月22日から開始された撤去作業の妥当性が問われます。

このように公園管理に関し、看過できない事態が住民の調査やわが党の議会論戦で浮き彫りになる中、指定管理者の説明は終始矛盾に満ちたままです。指定管理委託を発注する区の責任は極めて重大であり、以下、質問すると共に要望を行うものです。質問については3月31日までに文書にて回答を行うことを求めます。

## 【質問事項】

### 1 目白台運動公園の樹木について

- ①2009年度当初の開園当時の樹木数(中高木と低木)は何本だったのかお答えください。
- ②西武パートナーズが受託していた期間に伐採された樹木の本数をお答えください。
- ③目白台パークアップ 共同体受託していた期間に伐採された樹木の本数(中高木と低木)をお答えください。
- ④樹木の伐採について「業務要求水準書」では、枯死等により伐採が必要な場合は、区と協議することとされ、利用者へ周知して伐採するとされています。そこで、両指定管理者と区が事前に協議し伐採した樹木の本数(中高木と低木)と、協議なしで伐採した本数(中高木と低木)をお答えください。
- ⑤両指定管理者が樹木の伐採について、利用者へ周知した事実はあるのか、いつどのように行ったのか明らかにしてください。

### 2 西武造園(株)・西武緑化(株)の責任について

区長は本会議答弁(2022年2月15日)で汚泥の不法投棄に関して、前指定管理者である西武造園(株)・西武緑化(株)も関与していることを認めています。ところが3月22~23日に行われた汚泥の撤去作業に西武造園(株)(現在、区立肥後細川庭園を公園財団と共に指定管理受託している)や西武緑化(株)は立ち会っていませんでした。

- ①区は西武造園(株)や西武緑化(株)に対し、撤去作業に立ち会うよう要請した事実がありますか、お答えください。
- ②区は今後、汚泥投棄について責任を西武造園(株)・西武緑化(株)に対し問う予定はありますか、お答えください。

### 3 目白台パークアップ 共同体の「お詫びとお知らせ」(3月18日付)について

目白台パークアップ 共同体が3月18日にホームページで公表した「お詫びとお知らせ」では「側溝土砂は再利用目的で樹林地内の補修等に利用していた」としています。

- ①「側溝土砂は再利用目的で樹林地内の補修等に利用していた」事実について、目白台パークアップ 共同体が区に報告した日時を明らかにしてください。
- ②「側溝土砂は再利用目的で樹林地内の補修等に利用していた」ことについて区は妥当と考えるのか、見解を明らかにしてください。

## 【要望事項】

- ①目白台パークアップ 共同体から提出される2022年度の事業計画書は受理しないこと。
- ②目白台パークアップ 共同体との2022年度の年度協定の締結は行わないこと。
- ③目白台運動公園の開設以来、指定管理受託した2者の業務について全面的な検証を行い、その結果を議会と区民に公表すること。
- ④2009年度から2021年度までの各年度について、指定管理受託者が事業計画書で示した事業収支の勘定科目ごとの金額と総勘定元帳、専用銀行口座の写し、貸金台帳、月別給与一覧表を点検し、区民と議会に公表すること。
- ⑤現指定管理者の指定を取り消し、目白台運動公園の管理・運営は区直営にすること。

以上